

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2014-153621(P2014-153621A)

【公開日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2013-24681(P2013-24681)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 0 5

G 03 G 9/08 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且トナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸收率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザ定着方法。

【請求項2】

前記赤外線吸収剤の凝集体の体積平均粒径が、1nm以上1000nm以下の範囲である請求項1に記載のレーザ定着方法。

【請求項3】

前記特定波長が、波長700nm以上1000nm以下の範囲にある請求項1又は2に記載のレーザ定着方法。

【請求項4】

結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且トナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸收率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザ定着装置。

【請求項5】

帯電された像保持体の表面を露光して静電潜像を形成する潜像形成手段と、

結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且トナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸收率が低下するトナーを含む現像剤により前記静電潜像を現像して前記像保持体上にトナー像を形成する現像手段と、

前記トナー像を被転写体に転写する転写手段と、

前記被転写体に特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着する定着手段と、

を備えた画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために請求項1に記載の発明は、結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸収率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザ定着方法である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項4に記載の発明は、結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸収率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザ定着装置である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項5に記載の発明は、帯電された像保持体の表面を露光して静電潜像を形成する潜像形成手段と、結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸収率が低下するトナーを含む現像剤により前記静電潜像を現像して前記像保持体上にトナー像を形成する現像手段と、前記トナー像を被転写体に転写する転写手段と、前記被転写体に特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着する定着手段と、を備えた画像形成装置である。